



# 商工あみ

URL <http://www1.ocn.ne.jp/~amisho/> E-mail: [ami46@peach.ocn.ne.jp](mailto:ami46@peach.ocn.ne.jp)

発行所 阿見町岡崎3-17-9  
TEL 029-887-0552  
FAX 029-887-0342

発行責任者 千葉力三

商工会員数 918名  
青年部員数 38名  
女性部員数 86名

## 第二回 阿見町女性議会

一月三十日、第二回目の阿見町女性議会が開催された。阿見町商工会からは女性部副部長の齊藤フミエさんが演壇に立ち商工業者としての立場から質問を行った。

一月三十日、第二回目の阿見町女性議会が開催された。今回の議会は平成十四年度に第一回が開催されたから二回目の開催。町内女性団体の代表が集い、女性ならではの視点で行政に質問を行った。前議会で、女性部長の齊藤幸枝さんによる商工業を取り巻く環境についての質問があったことに続き、今回は女性部副部長の齊藤フミエさんが演壇に立ち、商工業者としての立場から質問を行った。



## 質問内容全文



質問する齊藤副部長

### 霞ヶ浦平和記念公園「整備計画」と「物産館」について

長引く経済不況の中で、地元商工業者、農業者も自力では限界に近い苦境に立たされている状況であります。私たち商工業者農業者も中堅スーパーの閉店や高齢化に伴い、若い後継者も非常に少なく、これから先が心配です。でも経営次第では夢があり、やりがいのある大切な職業であると思ひ、何か活路を見出したいと思ひ、何か活路の努力をしているところであります。

置との構想になって町の構想から外れてしまっている状態では、阿見町商工会と農協の将来構想との隔たりがあり、納得できない構想であります。よって、以下三点についてお尋ねをいたします。

●平成十三年度の当初計画では、物産館も構想エリアに入っていたものが、なぜ物産館の土地の確保、物産館建設が計画変更になったのか、お尋ねいたします。

●平和記念公園は、市街化調整区域にあるために、都市計画法により特産物の販売、食事、喫茶等の施設建設は建てることのできないので、物産館は平和記念公園施設の構想からは除外されているとの説明がありました。平成十五年九月開催の町議会総務委員会で物産館の土地についての質問の中で、「必要な土地を押さえる手法を検討する」という町長答弁がありました。その内容について具体的な策は、どのように土地を押さえるのか、お尋ねいたします。

●平成十四年六月、第一回女性議会の際、齊藤女性部長の質問のなかで、「この構想は継続しながらも時期が来た段階で、商工会、農協とよく話し合っていく」と考えている」との答弁をされてお尋ねいたします。商工業者の現況を十分ご理解いただけるならば、時期はまさに今である、との判断を町長にさせていただきたく、お尋ねいたします。

こうしたなかで、霞ヶ浦湖岸公園構想の中心となるのが歴史的遺産である予科練記念館を活用した平和記念公園であると考へます。そこで、平和記念公園の中の物産館設置についてお尋ねいたします。

これらの整備計画が示された平成十三年の当初構想段階では、記念館と物産館販売スペース設置計画が検討されており、私たち商工業者として、予科練記念館へ訪れる人への阿見町特産品、農産物、記念品等の販売による地域活性化の起爆剤になれば、との大きな期待を持っているところであります。

しかしながら、その後の町と商工会との定例的な会議『阿見町商工業に関する懇談会』における経過報告を聞きまして、物産館は隣接の市街化区域に民間活用で設

以上三点について、阿見町商工会九二〇会員、農協一六九三組合員へのご理解をいただき、具体策を明らかにしていただきたく、質問をさせていただきます。

## 町長答弁要約



質問に対し川田町長が答弁

霞ヶ浦平和記念公園は、予科練という貴重な歴史的遺産を後世に正しく伝え、世界恒久平和に寄与することを目的に計画されたものであると同時に地域活性化という大きな狙いも併せ持っている。公園来場者を地元の商業振興等に結びつける事は当然の考えであり、地域住民が期待している事も十分認識しており、その振興策の一つが特産品販売である。当初の構想では、公園の中に造る記念館のひとつのスペースに売店を設置する計画であったが、平成十三年四月の県知事陳情時に「道の駅」設置が提案され「売店」から「物産館」へと格上げされた。道の駅の一施設として整備検討を重ねるうち物産館について様々な法的制約があることが判明。

物産館は都市計画法上、ドライブインに該当。法的制約があり、本公園敷地内には設置が不可能。設置主体については営利目的の施設として扱われ、地方自治法上、行政として建設が不可能。用地取得も同様。地域振興に繋がらないため、設置可能な隣接市街化区域に民間活力による設置運営とする計画に修正した。当初は道の駅として計画し

ていたが、様々な法的制約があり、行政が公園内に物産館を設置することが不可能であるという事はご理解いただきたい。

では、どこが設置をするかについては商工会や農協が最良と考へている。運営ノウハウがあり、何よりも地域振興の主体と成り得る。

また、設置に対して国や県の補助事業も検討でき財源的にも有利かと思われる。具体的協議時期については、記念館展示内容が決定し、物産館としての立地や経営判断の要素となる「来場者数」や「対象年齢」等、ある程度想定できてから具体的な検討を、と考へているが、ご指摘のように昨年九月の議会総務委員会にて「他団体等に予定している土地を取得されてしまう」ことも考慮すると早急な土地の確保が必要との提案があり何か適当な仕法の有無を検討するつもりであるが、町が即確保するという事ではない。

また、商工会・農協共に独自の基本構想があるとのことなので、具体的な内容について協議可能かと思われる。来月中にも事務レベルの会議により土地の確保も含めて検討したい。本事業は各方面からの大きな期待のあまり、誤解も多分にあつたことは反省すべき点である。新年度早々には、商工会、農協および行政による物産館の検討委員会を正式に組織し、十分議論の上共通理解にたち設置に向けた調査研究に着手したいと考へている。以上が町の考え方であるが、この事業は行政だけでなく、商工会、農協だけでもできるものではなく、関係する三者が一緒に、知恵やお金の出し方を十分に協議し、具体的内容を固め実現に向かつていくものだろうと考へている。こういった状況をご理解していただき、ご協力をお願いしたい。

# 第四十三回通常総代会

平成十六年五月二十四日(月)、阿見町商工会において第四十三回通常総代会が開催された。総代一三二名の出席のもと、平成十六年度事業・予算が可決された。



第43回通常総代会

## 平成15年度事業報告



議長 齋藤十郎氏

昨年度の日本経済は、大企業が牽引する輸出の増加や生産の持ち直しの動き等により政府・日銀は「景気は緩やかに回復している」との見方を示しております。株式市場も年度後半には、景気拡大への期待感から上昇基調が続く日経平均株価は、一万一千円台へ乗せ景気回復を印象づけて

おります。しかしながら、世界的にはイラク戦争後のテロ続発不安懸念、国内的には政府の構造改革の目玉である郵政三事業民営化、道路関係四団体民営化問題、行政改革の市町村合併問題、国と地方の税財政改革(三位一体改革)がどうなるのか等不透明な状況にあります。このような状況での実体経済環境は、デフレの長期化傾向の中で中小企業の収益回復の遅れ、倒産、失業率の高水準などにより、中小企業経営は大変厳しい状況に置かれております。

に本格回復をするまでは、政府・日銀には、引き続き効果的な経済対策の実行が強く望まれるところであります。このような経済環境下で商工会の果たす役割は、一層重要であるとの認識を持ち、地域経済環境に即した経営改善普及事業、地域社会と密接に関わる活性化事業を実施してまいりました。

### ■主な商工会事業■

- 経営指導員の巡回強化  
町からの利子補給支援のある自治金融制度をはじめとした各種金融制度や、経営全般に亘る相談業務を推進。
- 阿見町との連携  
「町商工業に関する懇談会」「阿見町まちづくり委員会」を定期的に開催。市町村合併問題や霞ヶ浦平和記念公園構想、地域活性化等について話し合いが行われた。
- 商工業振興事業  
土木建設業部会による住宅新築・増築・リフォーム・庭の手入れ等を共同受注する組織の試験的運用を開始。
- 会員福祉共済の推進  
○地域総合振興事業  
商工会の一大イベント「あみ商まつり二〇〇三」を盛大に開催。また「まいあみまつり」への積極的協力。役員による町内街路の草取り奉仕活動を実施。経済講演会・パソコン講習会・会員従業員研修の実施
- 駐車場舗装工事完成  
商工会関係会議・講習会その他、今後は地域活性化のミニイベント等を企画し、地域ニーズに応えた活用を図る。
- 会員相互の親睦・健康増進  
ソフトボール大会・ゴルフ大会の実施。健康講演会や会員の健康診断の実施。
- その他  
広報紙「商工あみ」・カレンダー・ビジネスノートなどの発行・配布。

### ◇組織の概要◇

商工会員数	九三三名
個人事業会員	五四〇名
法人事業会員	三八三名
年度中新規加入者	三四名
年度中脱会者	三三名
青年部員数	三八名
女性部員数	八九名

### ◇関係組織団体◇

- 労働保険事務組合
- 茨城県火災共済協同組合
- 小規模企業共済
- 関東自家用自動車共済
- 協同組合阿見代理所
- 阿見町青色申告会
- 阿見町食品衛生協会
- 阿見町商工業振興会
- 阿見町企業連絡協議会

### ◇商工会役員組織◇

会長	一名
副会長	二名
理事	二六名
監事	二名

### ◇事務局機構◇

事務局長	一名
経営指導員	三名
補助員	二名
記帳専任職員	一名
一般職員	一名



経済・国際情勢について語る千葉会長

## 平成16年度事業計画

わが国経済は、緩やかな回復の兆しがみられるものの、中小企業を取り巻く経営環境はデフレの長期化傾向の中で企業倒産件数や失業率は高水準で推移しており、引続き予断を許さない状況です。

阿見町においても昨年度は会員事業所の廃業、撤退が多く見られ、地元中小企業者を取り巻く経営環境は、引続き厳しい状況です。このような中で商工会は地域総合経済団体、指導団体として組織の強化を図り、会員企業の指導・支援を行い地域社会の発展に貢献すべく、様々な事業を実施致します。

平成16年度 総予算額 74,478,486円		
(構成比)		
収入		
県補助金	30,090,740円	40.4%
町補助金	10,470,000円	14.1%
手数料	3,430,000円	4.6%
会費	16,065,600円	21.5%
その他	14,422,146円	19.4%
合計	74,478,486円	
(構成比)		
支出		
経営改善普及事業	42,267,661円	56.8%
地域総合振興事業費	15,620,000円	20.9%
管理費	16,050,251円	21.6%
その他	540,574円	0.7%
合計	74,478,486円	



厳しい経済社会ではあります。地域活性化の重要な担い手としての役割を認識し、「商工会の組織強化」「財政基盤の確立」「中小企業の活性化」を目指し、努力する所存です。行政をはじめ、関係諸機関との連携・協力を図りつつ、地域社会の発展向上のために邁進してまいります。



# まいんバザール

## ○商業・サービス業部会／視察研修○

阿見町商工会では平成十五年度に駐車場を取得した。また、地元会員の活性化と地域への商工会の存在意識の高揚を目的に、駐車場を有効活用した事業を検討している。

駐車場の有効活用例として、龍ヶ崎市商工会と同事務所により毎月開催している「まいんバザール」の視察を3月7日、商業サービス業部会により実施した。

このイベントでは会員・非会員関係なく出店があり、様々なテントが並び、様々な販売を行っている。中でも一番の目玉商品である「まいんコロッケ」は同会の女性部有志により始められたもので、今ではマスコミに取り上げられるほど。市内の飲食店でもコロッケに着目し「龍ヶ崎コロッケ倶楽部」を立ち上げ、各店の持ち味を活かしたコロッケを販売しているなど、「コロッケ」が地域活性化の原動力になっている。

このように町内の各団体と協力しながら推進したり、他の追随を許さない何らかの目玉商品の研究開発を試みるなど「できること」から始めれば、私たち阿見町商工会でも道は開けるのではないかとという結論が得られた。

最初から、あれもこれもやるのではなく「コロッケ」のように、何かひとつのテーマやコンセプトに基づいた検討から始めてみたい。



式辞を述べる第13代 飯島青年部長/(株)飯島工務店

# 商工会青年部

## 「設立三〇周年記念式典」



今回の式典に用意された「設立30周年」のマーク (デザインは青年部員による)



式辞を述べる第13代 飯島青年部長/(株)飯島工務店

平成十六年三月二〇日、阿見町商工会二階会議室において「阿見町商工会青年部設立三〇周年記念式典」が開催された。昭和四十八年設立以来の歴代青年部長、商工会長、川田町長、役員経済課を来賓にお迎えし、三〇年という節目の年を祝った。

この式典のために設立以来の青年部の足跡を綴った「三〇周年記念誌」と宮崎副部長(源床屋みよさき)の手による「陶器カップ」が制作され、飯島部長より歴代部長代表の本図氏に手渡された。

また、川田町長による記念講演「阿見町の今後の展望について」が開催され、阿見町の様々な事業について、詳しい解説をしていただいた。

この式典は記念誌(編集印刷)／陶器カップ／看板／記念マークなど、準備にかかるすべてが青年部員および青年部経験者の手により準備／制作された。

平成十六年四月二十四日、阿見町商工会の下部組織の一つ「阿見機械金属工業会」の解散総会が行われ、二十三年間の活動に幕が下ろされた。

阿見機械金属工業会は、機械加工、製缶、板金、溶接、樹脂成形加工を行う商工会員により昭和五十七年に組織され、経営・加工技術・知識の改善と向上、会員間の親睦と情報交換を目的に組織運営されていたが、ここ数年会員数が減少傾向にあり、一組織としての存続・運営が難しい状況にあった。今後は、阿見町企業連絡協議会への加入を推奨していく。

# 共同受注組織づくり

## ○土木建設業部会○

建築／土木／補修工事／造園  
建具／畳／瓦／シロアリ  
門塀／トイレ／風呂／水漏れ  
介護バリアフリー・・・etc

現在、会員建設業関係者による組織作りの検討をしています。



「町内の工事は町内企業でまかなおう」と土木・造園・補修工事・リフォーム等の共同受注組織(商工会建設組合／仮称)の検討準備が土木建設業部会により始められている。

実際に組合として立ち上げる前に「見積もり無料」をうたったチラシを試験的に町内全戸配布し、需要と反応を調査した。配布以来、現在までに十七件の見積もり依頼があり、うち七件が実際に施工となった。現在までの工事金額の合計は約百五十万円。

今後も町内全戸へのチラシ配布を試験的に数回実施し、この先、組織として成り立っているかどうかを見極めながら慎重に検討していく。

# 「火」を使わない

## 「電気」の暮らしを見学

### ○工業／土木建設業部会○

【三月七日】

近年、家庭でのIHクッキングヒーターや電気温水器の需要が増えてきている。プロパンガス等の火を使う調理器にかわり、環境に優しく、省エネ性に優れた電化機器などに人気が集まっている。

これからの電化住宅の参考に、工業／土木建設業部会合同により、電化住宅の情報がつながっている東京電力の「電力館(渋谷区)」の四階「くらしと電気」フロアを訪れ、これからの時代を先取りした電気を活かした「安心・快適生活」を見学し、理解を深めた。

# 阿見機械金属工業会が解散

平成十六年四月二十四日、阿見町商工会の下部組織の一つ「阿見機械金属工業会」の解散総会が行われ、二十三年間の活動に幕が下ろされた。

阿見機械金属工業会は、機械加工、製缶、板金、溶接、樹脂成形加工を行う商工会員により昭和五十七年に組織され、経営・加工技術・知識の改善と向上、会員間の親睦と情報交換を目的に組織運営されていたが、ここ数年会員数が減少傾向にあり、一組織としての存続・運営が難しい状況にあった。今後は、阿見町企業連絡協議会への加入を推奨していく。

# 青色申告会 消費税 総額表示スタート

平成16年4月から改正消費税法の実施により、消費者に対する「値札」や「広告」などに消費税を含んだ支払総額の表示を義務付ける「総額表示方式」がスタートしました。総額表示を実施することにより、消費者がいくら支払えばその商品やサービスが購入できるか「値札」や「広告」を見ただけで簡単に分かるようになり、価格の比較も容易になります。

**■ 価格表示の方法**  
消費税額等を含む支払い総額が表示されていればよい。  
【例】

- 1,050円 (本体価格1,000円、消費税等50円)
- 1,050円 (本体価格1,000円)
- 1,050円 (うち消費税等50円)
- 1,050円
- 1,050円 (税込) 等

**■ 価格表示の対象**  
消費者に対して行われる価格表示であれば、商品本体店頭、チラシ広告、新聞・テレビ・インターネットによる広告等の媒体を問いません。  
※口頭による価格の提示は対象になりません。

**総額表示？**

どう表示すればいいのですか？

価格表示の対象は？

**■ 納税資金の準備を**  
消費税は所得税のように延納制度なく、一括して納税しなければなりません。納税資金の準備を心がけてください。

# 阿見町商工業に関する懇談会

この商工業に関する懇談会は商工会と町との定例的な会議として開催されており、今回で九回目となる。町と商工会の連携による地域活性化を重点に話し合われている。

まず、町内企業からの物品購入について、町内業者の受注の実績や、建設関係の指名願いの状況、競争入札参加資格審査申請等について報告を受けた。町の購入金額の町内業者と町外業者の割合は、ほぼ半々であるとの事である。

また、中小企業者に対する低金利融資「自治金融制度」の利子補給制度については、平成十二年度から全額補給を実施しているが、平成十六年度予算は1%で計上されている。

経済課としては全額補給についてこれから予算交渉の中でつめていく考えであるというが、ぜひ例年通り実施していただきたいものである。

地域活性化について、「まいあみまつり」の内容刷新や「さわやかフェア」(阿見町主催)と「商工まつり」の合同開催の検討を示唆されたが、いくつかの開催内容の点から、共同開催が困難である旨を伝えた。

その他、現在進行中の首都圏中央連絡自動車道、阿見東部工業団地の企業誘致交渉の状況などの説明を受けた。

今後は行政と商工会の連携により地域活性化に繋がる話し合いを続けていく。

月	主な商工会行事予定
3月	確定申告相談
2月	健康講演会 確定申告相談 珠算検定
1月	新春経済講演会 会員健康診断
12月	決算説明会
11月	ゴルフ大会 珠算検定
10月	商工まつり
9月	パソコン研修 ソフトボール大会
8月	パソコン研修
7月	従業員研修
6月	珠算検定

# 運転資金、設備資金のご相談は、まず商工会へ。

◎商工会では、中小企業のための低金利な融資制度を斡旋しております◎

近年、ほんの一時的な資金繰りのために消費者金融を利用してしまおう方が増えています。しかし「すぐに返済できる」はずの予定が狂い、毎月利子のみをどうにかこうにか支払うことで精一杯になってしまうことも・・・。運転・設備資金が必要な時はまず、商工会にご相談ください。金利の低い制度を斡旋致します。

**マル経融資** (運転/設備550万円)  
担保がいらない、保証人もいらない、低金利。

利用対象：商工会の経営指導を6ヶ月以上受けている従業員20人以下(商業・サービス業は5人以下)の企業

**自治金融** (運転500万円/設備1000万円)  
金利が安くて、町が利子を払ってくれる。

利用対象：阿見町で1年以上同一事業を営んでいるもの、阿見町在住のもので、町民税を完納していること。



岸千恵子

## 『あみ商工まつり2004』

開催日 平成16年10月24日(日)  
(雨天決行)  
会場 阿見中学校

地域の活性化と振興を目的とし、毎年好評の「商工まつり」の日程が決まりました。今年、紅白餅まきのオープニングを皮切りに、トークも楽しい「岸千恵子」さんによる歌謡ショウ、その他、盛り沢山のイベントを商工会役員・青年部代表・女性部代表で構成しました実行委員において、企画しています。皆様、どうぞお楽しみに！

## 不測の事態に備えて・・・ 会員福祉共済

～あなたの暮らしを守ります～

◆商工会会員の皆さまのために全国商工会連合会が開発し運営する傷害共済制度です。  
◆掛金は、年齢・性別・職種に関係なく一律月々2000円で、国内外24時間フルカバー！

## 手軽な掛金でビッグな補償！

共済金種類	事故種類	共済金額
死亡共済金	交通事故 不慮の事故	A:1000万円 (B:700万円) ※ A: 800万円 (B:500万円)
後遺障害共済金	交通事故 不慮の事故	A:1000万円～10万円 (B:700万円～7万円) A: 800万円～8万円 (B:500万円～5万円)
手術共済金	手術内容に応じて	A:20/10/5万円 (B:10/5/2.5万円)
入院共済金		A:8000円(1日目～100日目) / B:5000円(3日目～100日目)
通院共済金		A:3000円(3日目～100日目) / B:1500円(3日目～100日目)

※A：A共済/満6歳～65歳 B：B共済/満66歳～80歳

ひと月2000円の掛金で、国内外において交通事故や不慮の事故によって障害を被った場合、高度障害あるいは死亡した際に右上表の金額をお支払い致します。

●加入資格 満6歳～80歳迄の会員/会員の従業員/会員の家族/従業員の家族



奉仕作業を実施

去る、5月8日(土)晴天のもと、商工会役員・青年部・女性部・職員(総勢60名)により『あみ商工まつり』で毎年借出させていただいている阿見中学校の体育館脇および校門周辺の草取りを実施致しました。作業を終えた後を見渡すと、とても清々しいものでした。  
役員により奉仕活動は、今後も続けていきたいと思っております。

『まいあみまつり二〇〇四』実行委員長に 林 弘行氏

8月7・8日(土・日)に開催される阿見町の風物詩、「まいあみまつり二〇〇四」が、今年も阿見町主催により開催されます。

例年、商工会青年部・女性部より実行委員を選出し、ご尽力いただきながら参加・支援をして参りました。

今年、委員長に商工会役員であり、林 弘行氏(中央/山口工務店)が、選出され、加えて女性部/青年部から計6名の実行委員が選出されております。いつにも増して、このまつりを盛り上げていきたいと思っております。

## 新会員紹介

### 商業部会

#### 倉持農園

倉持孝治 (中央)

#### 快晴堂

鈴木貞夫 (二区)

#### 鮪善

館野善男 (中央)

#### 喜人喜寫

鶴田広美 (上郷)

#### (株)オーガニック

ファーマーズ・フーズ (二区)

#### (有)太陽工機

清水俊明 (住吉)

#### サビス業部会

(有)ニードコーポレーション

岡野義和 (立の越)

#### タカラ商会

酒寄一彦 (二区)

#### 松浦あみもの学院

松浦幸子 (中郷東)

#### エイダイ

大竹永一 (小池)

#### ボディショップ ビープレイフ

浜地宏征 (中央)

#### (有)エポルブルス

仙波 勇 (大形)

#### (有)明宝興業

飯島 孝 (青宿)

#### 栗原SKS事務所

栗原三知男 (中央)

#### 土木建設業部会

#### 永和工業

永瀬利幸 (中央)

#### 川村建工

川村 保 (上郷)

小笠原サイディング工業 (青宿)

## そろばん合格おめでとう

全国商工会連合会が主催する「第132回珠算検定試験」が阿見町商工会2階会議室において2月15日に開催されました。近隣市町村から集まった42名の受験者は日頃から培ってきた力を確認するため、素早い指使いで検定試験に挑戦しました。

### 一級合格者



瀬戸未有希さん 土浦第五小5年



合田和矢さん 都和小5年



伊藤綾子さん 真鍋小6年



野口幸人さん 下根中1年

### 二級合格者

畑山紘也さん(下稲吉小4年)  
小野清敬さん(新治小5年)  
石田麻菜美さん(神立小4年)  
岡田千明さん(七会小5年)

### 次回珠算検定のお知らせ

応募締切 H16年10月15日  
試験日 H16年11月21日

お申し込みお問い合わせは阿見町商工会まで

## 事務局ニュース

### イタズラ注文にご注意!

最近、飲食店等への「イタズラ注文」が増えていると、土浦警察署から連絡がありました。注文先に品物を届けても、当人は頼んでいなかったり、宴会の注文があつても客が現れないなど悪質なものが、こうしたイタズラを見分ける事は非常に難しいですが、初めのお客様や大量注文を受けた際には、注文先に折り返し電話による確認をするなど、未然に防ぐ対策を。

### 人事派遣交流期間終了

龍ヶ崎市商工会との間で実施されていた人事派遣交流期間の2年間の終了。6月1日付で木村正弘経営指導員が龍ヶ崎市商工会に戻り、蛭原康裕経営指導員が当商工会に着任し業務を引き継ぎました。今後ともよろしくお願致します。

### 編集後記

新緑の深みが増し、梅雨の合間の青空の下に時おり吹く風が心地よい季節となりました。さて、梅雨と聞いて皆さんは何を思い浮かべるのでしょうか? 私は、青や紫などの花。例えば「アジサイ」。各地の名所の様子がTVでよく紹介されるこの花の原産地は日本。元々海岸沿いに自生していたものが江戸時代に国外に持ち出され、西洋で改良されたものが西洋アジサイと呼ばれているようです。花の色が変化するのは土壌の状態が影響します。酸性なら青に、アルカリ性ならピンクや赤になるのです。梅雨が明ければ暑い夏がやって来ます。体調を崩しやすい季節なので、十分留意して乗り越えて行きましょう。  
◆「花言葉《梅雨の花》」  
◆アジサイ「高慢」「冷淡」  
◆ショウブ「勇氣」